

2022年10月25日
イオン北海道株式会社

10月26日（水） 2022年度総合地震防災訓練を実施します

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、10月26日（水）、大規模な地震、巨大津波を想定した総合地震防災訓練を実施します。

今回の訓練は、日高・三陸沖を震源とするM9.1（北海道最大震度5強）の地震発生し、太平洋沿岸部に巨大津波が発生することを想定し、実施します。

訓練は、「発災直後」「発災1時間後」「発災直後の初動対応についての報告訓練」「発災24時間後」の4部構成で、各種通信手段を用いた情報収集訓練、店舗従業員の安否確認訓練、営業再開に向けた訓練、イオングループ各社との連携訓練などを行います。

また、第3部の「発災直後の初動対応についての報告訓練」では、新たな試みとして、各店で有事に備え策定している初動対応計画に基づいた報告訓練や、対策本部委員の思考力と判断力を養うため、店舗からの報告に対し、その場で対策を考えるブラインド訓練も実施します。

当社は、総合地震防災訓練をはじめ、様々なリスクを想定した訓練を継続的に行い、地域の皆さまの安全・安心な拠点となる店づくりに取り組んでまいります。



＜2021年度の防災訓練の様子＞

【訓練の概要】

1. 日 時 2022年10月26日（水）9：00～11：30（予定）
2. 場 所 イオン北海道株式会社 本社
※道内店舗並びにイオングループ対策本部（千葉県）との連携訓練も実施します。
3. 訓練項目
 - 第1部「発災直後」：対策本部の立ち上げなど
 - 第2部「発災1時間後」：事業部からの情報収集、安否確認訓練など
 - 第3部「初動対応報告訓練」：被災エリア店舗による有事の際の対応計画に基づく報告訓練、対策本部委員による対応指示訓練
 - 第4部「発災24時間後」：イオングループ各社との連携、物資要請訓練など
4. 参加団体 イオン北海道株式会社、イオン株式会社、イオングループ各社

【本件に関するお問い合わせ】

イオン北海道株式会社 環境・社会貢献・広報・IR部 電話：011-865-9111

ご参考

当社の防災に向けた取り組みについて

当社は、有事の際、地域のお客さまの暮らしを支え、社会インフラの役割を果たすべく、毎年「総合地震防災訓練」を行っているほか、地震などの災害時に備えて、イオンモール札幌発寒、イオンモール釧路昭和には「バルーンシェルター（災害発生時に避難スペースとして利用できる緊急避難用テント）」を配備し、イオンモール苫小牧、イオンモール札幌平岡、イオン江別店では「自家発電装置」を備えています。

また、北海道をはじめとする道内41の自治体や北海道警察、企業、病院等（2022年9月末時点）と支援物資の提供などを盛り込んだ「防災協定」を締結し、地域の皆さまが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

ローリングストック

自然災害の増加などにより、食料品・飲料・生活用品などの日常づかいの商品を少し多めに買い置きし、使ったらまた買い足すことで、日常から緊急時の備えをする方が増えています。ローリングストックとは、日常食を非常食として蓄えるという食糧備蓄の方法で、「日常的に食べて買い足す」習慣を、イオンでもお客さまに推奨しています。



【バルーンシェルター】

